

京都大学経済研究所シンポジウム

「気候変動研究の新たな地平—— COP31 の成果と課題——」

開催概要

日 時：2026 年 12 月 1 日（火）14:00～17:00
場 所：経済研究所北館 1 階 N101・N102 講義室
定 員：50 名
主 催：京都大学経済研究所先端政策分析研究センター（CAPS）

趣旨

2026 年 11 月にトルコ・アンタルヤにおいて国連気候変動枠組条約第 31 回締約国会議（COP31）が開催される。京都大学経済研究所では長きにわたって気候変動関連の経済研究・政策研究を行うとともに、UNFCCC の認定 NGO としての立場を通じて COP の交渉にも多大な関心を持ち続けてきた。COP31 にも複数の研究者を派遣し、他の機関との協力の下、イベントを行うこととしている。今般の COP31 の開催を踏まえ、気候変動に関する研究アジェンダについて、広く研究者に参加を呼びかけたブレインストーミング形式のパネルディスカッションを行うこととする。

次第

開会挨拶 関口 格 京都大学経済研究所 教授・所長
司 会 服部 崇 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター特定教授

1. 基調講演

小川真佐子 環境省地球環境局特別国際交渉官
清水淳太郎 経済産業省 GX グループ環境政策課長

2. COP31 参加報告

五十嵐祐介 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター特定准教授
ジュリー・アン・デ・ロス・レイエス 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授

3. パネルディスカッション「気候変動関連の研究アジェンダ」

モデレーター：服部 崇 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター特定教授
パネリスト：竹内 憲司 京都大学大学院地球環境学堂教授
新澤 秀則 兵庫県立大学名誉教授
関山 健 京都大学大学院総合生存学館教授
田村堅太郎 地球環境戦略研究機関リサーチディレクター
鄭 方婷 ジェトロ・アジア経済研究所主任研究員

閉会挨拶 溝端 佐登史 京都大学経済研究所特任教授・先端政策分析研究センター長